

琉球の身体とは何か（踊りと講演）

～踊ることは研究すること／研究することは踊ること～

講師：小橋川ひとみ（琉球舞踊家・民族舞踊学者）

日時：2010年1月15日（金）16：00～18：00

会場：大阪大学 21世紀懐徳堂多目的スタジオ（豊中キャンパス・イ号館）

参加自由、無料です。会場へは、下の地図を参照ください。

第一部 舞踊

出演：小橋川ひとみ 解説：栗山新也

一、かぎやで風

二、花風

三、総掛（復元）

第二部 講演とディスカッション

時間の彼方に消えてしまう舞踊の技法や身体の復元は、いかにして可能だろうか？

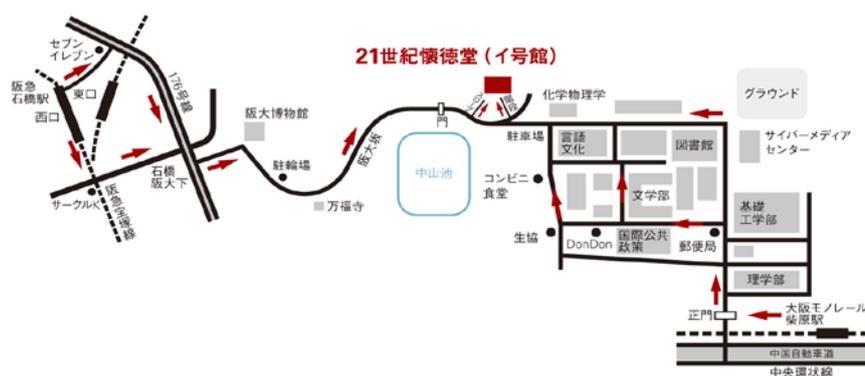
実践と研究行為とのかさなり、すなわち自らが舞踊の伝承者であり、同時にそれを研究対象として取り上げることから、どのような可能性がひらかれるだろうか？

本セミナーは、沖縄本島に伝承される村踊りの研究から「御冠船踊り」（首里王府時代の宮廷芸能）の復元を試みた小橋川ひとみさんを迎え、琉球舞踊の実演と講演から舞踊研究のあらたな視座にせまります。

講師の紹介：小橋川ひとみさん

玉城流いずみ会教師として舞台に立ちながら、琉球舞踊の身体技法の研究で活躍中。沖縄県立芸術大学大学院（舞台芸術専修）を修了後、10年近くにわたって沖縄本島各地の村踊りを取材し、2009年7月沖縄県立芸術大学にて復元された御冠船踊り「総掛」の考証を担当した。創作舞踊に「をなりの思い」「遊でいウミハマラ」などがある。

（解説・司会 栗山新也 大阪大学大学院文学研究科D1）



お問い合わせ：

「横断するポピュラーカルチャー」研究プロジェクト

（大阪大学GCOE「コンフリクトの人文国際研究教育拠点」）

メール：crossing-popularculture@let.osaka-u.ac.jp（古川）

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/crossing-popularculture>